

株式会社コスモ・スペース 様

導入事例紹介

グローバルシャッター機能付き2/3型搭載3板式4Kイメージセンサー内蔵
システムカメラ「HDC-5500/HDCU-5500」3式をS.Broad Program SEにて導入

▶スポーツイベント・コンサートなど様々なシーンで中継、取材、撮影のサービスを提供されている、技術本部
本部長 平野様、テクニカルプロデューサー 柳澤様に、導入背景、採用のポイント等についてお伺いしました。



導入背景

常に高いクオリティのサービスをご提供するため、フレキシブルな機材導入が必要

弊社では、多くのソニー製カメラをS.Broad Programにて導入・運用してきましたが、中継制作のニーズが高まっている中で、ハイクオリティなサービスをご提供できるシステムカメラ「HDC-5500/HDCU-5500」を導入する必要がありました。S.Broad Programは保守を含めたコストメリットがあるソリューションで、通常のリースに比べ導入後も柔軟な対応が可能であり、今回の機材導入につながりました。

採用のポイント

保守・修理費用がリースに含まれており、光学ブロックのトラブルにも対応※いただける安心感が採用の決め手となりました

メーカーと直結した手厚い保守がリースに含まれ、修理もおまかせできることで安心して運用できると思っております。また、システムカメラ向けに特別に光学ブロックの保守対応を手厚くしていただいたことも採用につながりました。音楽ライブの業務において光学ブロックにレーザーが照射してしまい、機材トラブルが起き修理費用が高額となるケースがあります。この点にも対応してもらっていることで、業務運営していくうえで安心感があります。

突発的な修理費用が不要であり、予算管理が容易

S.Broad Programであれば、導入後に発生する保守費用を想定する必要がなく予算計画を作成しやすい。再リースをした場合、2回目からはリース料が半額になる点は、機材収益を考えるうえでもよいと思います。またSFIリーシングは、長年にわたりソニー放送業務用機器のリースを専門に取り扱われており、システムカメラにおいてはメンテナンス内容を改良してリースプランを提供していただいた点も採用するポイントになりました。

今後の設備投資について

私どもは、今後も放送業界の環境変化に応じた高いクオリティのサービス提供を維持していくため、安心感がありフレキシブルな機材導入を可能にするS.Broad Programを、うまく活用していきたいと思っております。またSFIリーシングには、メーカーと連携したソニー製品でしか実現できないメニュー開発を、これからも期待しています。



※レーザー照射が原因と思われる障害に関しては契約開始日より1年ごとに、1度までの対応といたします

S.Broad Program SE

S.Broad Programは、放送業務用機器を中心としたソニー製品とメンテナンス、動産総合保険をパッケージにし、1年～3年のリース期間でありながら廉価な月額のお支払いで安心して機材をご利用いただけるAll-in-Oneのオリジナル・リースプログラムとして、ソニービジネスソリューション(株)、ソニープロテク/サポート(株)、SFIリーシング(株)の3社共同の運営にて提供しております。

SFI Leasing

<http://www.sfil.co.jp>

Specialty / Financial solution / Invention / Leasing